

平成29年6月16日

各 位

国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学
学 長 横 矢 直 和
公益財団法人 奈良先端科学技術大学院大学支援財団
理 事 長 辻 井 昭 雄
公益社団法人 関西経済連合会
会 長 松 本 正 義

第32回奈良先端大産学連携フォーラムの開催について
「新たな研究領域の開拓～第二の山中伸弥教授を目指す若手研究者～」

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学は、平成30年度に現在の3研究科から1研究科に移行し、融合領域教育の強化及び新たな研究領域の開拓に取り組んでまいります。今回、研究者や企業の技術者等のみなさまに1研究科への移行に先駆けた取り組みの一部を紹介するとともに、ご参加いただきましたみなさまの交流を目的として、第32回奈良先端大産学連携フォーラムを下記のとおり開催いたします。

奈良先端大が取り組んでおります最新の研究成果を紹介し、産学連携活動を一層推進したいと思っておりますので、ご多用中とは存じますが、多数のみなさまにご参加くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

日 時：平成29年7月21日（金）13：30～16：30 [13：00～受付開始]
場 所：公益社団法人関西経済連合会中之島センタービル29階会議室
（大阪市北区中之島6丁目2-27）※参加費無料

プログラム：

・挨拶 [13：30～13：35]

奈良先端科学技術大学院大学 理事・副学長 箱嶋 敏雄

・研究成果紹介講演 [13：35～15：45]

「ソーシャルが拓く未来の医療／健康」

研究推進機構 特任准教授 荒牧 英治、博士研究員 若宮 翔子 (情報理工学、データサイエンス)

「アフリカの農業を脅かす魔女の草の撲滅に向けて」

研究推進機構 特任准教授 吉田 聡子 (情報生命科学、バイオサイエンス、データサイエンス)

「計量化学を用いる希土類発光の機構解明と材料設計」

研究推進機構 特任准教授 畑中 美穂 (物質理工学、データサイエンス)

「分子技術に基づいて両親媒性を導入した複機能性高分子の合成」

研究推進機構 特任准教授 網代 広治 (物質理工学、バイオナノ理工学)

・研究推進機構の紹介 [15：45～16：00]

研究推進機構 産官学連携推進部門 部門長 久保 浩三

・情報・意見交換会 [16：00～16：30]

講師との情報・意見交換の時間を設定しております。ぜひ、積極的にご交流ください。

協 力：公益財団法人 関西文化学術研究都市推進機構

※参加を希望される方は、別紙の申込書にて、FAXまたはメールにてお申込み下さい。

【お問い合わせ先】

公益財団法人 奈良先端科学技術大学院大学支援財団 企画事業部

TEL：0743-72-5810 FAX：0743-72-5819 Mail：ashida@science-plaza.or.jp

URL：<http://www.science-plaza.or.jp>

<研究成果紹介講演要旨>

「ソーシャルが拓く未来の医療／健康」

研究推進機構 特任准教授 荒牧 英治、博士研究員 若宮 翔子 (情報理工学、データサイエンス)

ビッグデータ、人工知能、ディープラーニング、さまざまな情報技術の波が医療を革新しつつある。新しい情報技術によって、どのようなことが可能になりつつあるのか、言語処理技術を中心に、医療人工知能、認知症、花粉症といった医療応用事例を紹介するとともに、来たるべき未来の生活について講演する

「アフリカの農業を脅かす魔女の草の撲滅に向けて」

研究推進機構 特任准教授 吉田 聡子 (情報生命科学、バイオサイエンス、データサイエンス)

魔女の草と呼ばれる雑草があります。ストライガという名前のこの草は、アフリカ大陸を中心に人々の主食となるイネ、トウモロコシ、ソルガムなどに寄生する寄生雑草で、甚大な農業被害を引き起こしています。ストライガはなぜそんなに脅威になるのか？ストライガの巧みな生存戦略と魔女の草の撲滅に向けた取り組みを紹介する。

「計算化学を用いる希土類発光の機構解明と材料設計」

研究推進機構 特任准教授 畑中 美穂 (物質理工学、データサイエンス)

希土類の発光は、ディスプレイから生体内センサーまで幅広い分野で用いられている。中でも、近年開発された発光色が温度によって変化する「カメレオン温度センサー」は航空機表面の温度測定等の分野への応用が期待されている。本講演では、この現象のメカニズムや、メカニズムを調べるための新しい近似的計算方法、温度に対する感度の異なる発光体の設計指針について紹介する。

「分子技術に基づいて両親媒性を導入した複機能性高分子の合成」

研究推進機構 特任准教授 網代 広治 (物質理工学、バイオナノ理工学)

一般に液体を輸送するパイプでは、内部が閉塞すると様々な問題が生じる。例えば、血管に脂分がたまると、動脈硬化症の原因となる。また、天然ガスパイプラインにガスハイドレートがたまると、大事故を招く。本講では、水にも油にもなじむ“両親媒性”を利用して、これらの問題を解決する高分子材料の研究について紹介する。

<参加申込書>

第32回奈良先端大産学連携フォーラム 参加申込書

【お申し込み先】

公益財団法人 奈良先端科学技術大学院大学支援財団 企画事業部

FAX : 0743-72-5819 Mail : ashida@science-plaza.or.jp

お名前			
ご所属の機関名・役職名			
ご連絡先	TEL :	FAX :	
	Mail :		

※参加受付確認書等は発行してございません。

※当日受付にてお名前の確認をお願いしております。

※公益財団法人奈良先端科学技術大学院大学支援財団では、上記のお申し込みにてご記入頂いた情報を、本事業の実施運営及び今後開催する同様のフォーラム等をご案内させていただく際に用いることがございます。

<会場へのアクセス>



市バス	大阪駅から 53 系統 (船津橋行) 約 20 分 淀屋橋から 88 系統 (天保山行) 約 10 分	終点船津橋下車 土佐堀 3 丁目下車	すぐ 徒歩 3 分
京阪電車	中之島線「中之島駅」下車	2 番出口から	徒歩 3 分
地下鉄	千日前線「阿波座駅」下車	9 番出口から	徒歩 7 分
	中央線「阿波座駅」下車	3 番出口から	徒歩 10 分
J R	環状線「野田駅」下車	徒歩 10 分	
	東西線「新福島駅」下車	徒歩 10 分	
お車ご利用の場合	阪神高速中之島西出口から 0.6 km		